

日頃のお世話、お疲れ様です🌸
牧之原市主任ケアマネジャーが おむつのギモン をシリーズでお届け 第2弾！！

第2弾は 【お体の状態に合わせた紙おむつの選び方】 です

【紙おむつの選び方】

紙おむつは形や大きさが様々です。使用する方のお体の状態に合ったものを選択しましょう。

★ 可 能 な 動 作 は ？

寝て過ごすことが多い



立てる・座れる



一人で歩ける
介助があれば歩ける



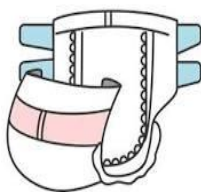
★ 排 泄 状 況 は ？

トイレで排泄が出来ない

トイレが間に合わない時がある

夜間 昼間

テープタイプ



パンツタイプ
(紙パンツ、リハビリパンツ)



普通のパンツ+軽失禁パッド



尿量や交換頻度に合わせてパッドを併用



大容量

夜間、長時間でも安心
600～1800CC 前後



中量

パンツ、テープタイプ併用可



軽失禁(少量)

ちょびっと漏れに安心
5～70CC 70～170CC

1. おむつのタイプを選ぶ

おむつ選びは日常生活動作を基準に選びます。その中でも、座れるかどうかを軸に選ぶといいでしょう。

① 立てる・座ることができる方

座ることが出来ればトイレでの排尿(排便)が可能なので、選ぶおむつのタイプは上げ下げが楽に行えるパンツタイプを基準に選びます。

② 寝た姿勢でおむつを交換しなければならない方

寝た姿勢でおむつ交換をしなければならない方にはテープタイプの製品を選びます。テープタイプは腹側を開閉できるので、寝た姿勢でもオムツ交換が楽に行えます。

2. おむつのサイズを選ぶ

紙おむつのサイズ表記は服のサイズ表記と同様、S、M、Lなどが多いですが、同じ表記でもおむつのタイプや製品によってサイズの範囲が異なります。**パンツタイプはウエスト、テープタイプはヒップサイズ**に合わせましょう。

すでに紙おむつを着用している場合のチェックポイント

■パンツタイプの場合



状 態	対 応
足周りやお腹周りにきつさや痛みがある場合	サイズを大きいサイズに変更します
パンツのずり下がりや、ズレがある	サイズを小さいタイプに変更します

■テープタイプの場合

着用時に左右のテープが重なり合って止まってないか、または股間部のおむつ素材がだぶついているかなどを確認します。もしこのよう状態であればサイズが大きすぎるのでおむつサイズを下げる必要があります。

3. パッドが使用可能かどうか見極める

パッドを使用することで次のような状況であればパッドを併用せずパンツタイプ単体使用が良いでしょう。単体使用の場合にはオムツ自体の吸収量を確認の上使用しましょう。



- ・トイレの際、脱着が困難な状態になる
- ・パッドをトイレに落としてしまう
- ・パッドのヨレを自分で直せないなど



おむつ単体使用

■尿取りパッドが併用可能

尿取りパッドを使用することで、汚れたパッドは交換すればよいので楽に行えますし、介護者がいる場合は介護負担の軽減につながります。

★パッドの選び方

パッドは種類やサイズが豊富にありますが、基本的には尿量で選びます。そのほか、利用者の尿量や排尿時の姿勢、排尿のタイミング、生活状況なども考慮して選んでいきましょう。

※ おむつ選びでお困りの際は、担当ケアマネジャーにご相談ください。



次回は第3弾 【おむつの当て方、交換の仕方について】です。